

2.3 日間持続する非回転性眩暈を主訴に来院された 73 歳女性

与論徳洲会病院 研修医 笠井明大

指導医 久志院長

現病歴

高脂血症の既往のある 73 歳の女性の方。ADL は自立している。2.3 前より眩暈あり、一時軽快していたが、4/8 の 17 時頃より再度眩暈出現し、19 時 05 分に当院救急外来受診された。眩暈は非回転性で動揺性眩暈、数時間持続、体位変換は関係なし。

本日はスーパーで買い物中に出現した。先行感染はなし。

嘔気+ 難聴+ 耳鳴+

既往 高脂血症あり プラバチン 5m g 内服している。

DM- HT- Af-

その他内服なし

理学所見 意識清明 血圧 168/88 P72

瞳孔 4mm/4mm 眼球運動 FULL 眼振-

その他脳神経異常なし

上肢下肢筋力低下、知覚異常なし

バレー陰性

バビンスキー陰性

指鼻試験陰性

上記より末梢性眩暈疑ったが、中枢性眩暈否定するため、MRI 施行した

MRI にて DWT1 にて左側頭葉に高信号みられたため、脳梗塞疑った。

発症より数時間～数日経過していると思われ、オザマリン、ラジカット開始。

しかし症状と梗塞部位が一致しない印象あり、翌日南部徳洲会脳神経外科嘉手軽 Dr に相談した所…

以下スライドにて発表いたします。

